



昨年度実施した学習発表会、持久走記録会について

昨年度、ここ数年課題となっていた学習発表会、マラソン大会について、方法を変えて実施しました。変更したことによる成果や課題について、職員の意見、子どもに行ったアンケートの結果を保護者の方にもお知らせします。 **※特に黄色の部分をお読みください。**

学習発表会

【職員の意見】 ○成果 ▲課題

- 体育館限定ではなくなったので、各学年のその年の学習内容に応じた発表となってよかった。
 - 今まで学習してきたことを、子どもたちが生き生きと発表していた。
 - 当日まで子どもたちが進んで練習に取り組んでいた。
 - 子どもたちが主体になって作ったので、本番まで前向きに取り組むことができた。
 - 練習後、負担になっている様子は見られず、練習回数も適切であった。
 - 出番について、個々の実態に合わせて参加できるところを用意してもらい、どの子も発表に満足できていた。（支援級）
 - 専科の授業がつぶれることがほぼなかった。
 - 劇形式の発表の方が見ごたえはあるが、教室発表のグループは児童が考えたり、調べたりしたものを緊張しながら発表していた。どの子も一生懸命頑張っていた。
 - 教室で開催できるのは、練習するにも本番を迎える際にも、また健康面や不審者対策の面でもよい。
 - 保護者の方が、うまく兄弟・姉妹間が重なっても調整して動いてくださった。
-
- ▲合唱を楽しみにしている保護者がいるので、次年度以降、考慮に入れたい。
 - ▲教室開催だと、予想以上の来場者で、同じ内容を2回発表したにも関わらず、教室がほぼ一杯になる。密が気になった。
 - ▲2回公演ならチケット制にして、どちらか一方のみの参観にしてもらうなどはどうかと思う。
 - ▲クラスごとで発表する場合は、物理的、時間的に難しいとは思いますが、教室以外の3か所また4か所でできるとよい。
 - ▲移動して鑑賞する形だったため、移動するときに、保護者が動きにくくなってしまっていた。
 - ▲体育館を会場とする学年は、保護者席を体育館半面分として確保し、計画するといいと思う。
 - ▲きょうだい関係で同じ時間に設定されている場合は、保護者としては困ると思う。該当する保護者の声を聞きながら、今年のような対応にするのか、もっと細かく学年ごとに時間を区切るのか検討が必要。
 - ▲兄弟がいる学年は、保護者が自分の子の発表を待つ時間もおり、どこで待てばよいのか分からない。家庭科室や図工室などを待ち合いの部屋として使うか、何か対策を考える必要がある。

【児童アンケートの結果】※昨年度の3～5年生に実施

	人数				主な理由
	3年	4年	5年	計	
今年のようなやり方を続けたい。	93	56	4	153	・教室の方が、声が聞こえやすい。（3年） ・自分たち考えて発表できる（3年） ・体育館だけでなく、教室でできることが増える。（4年） ・好きなやり方を選べる。（5年）
前のやり方がよかった。	20	42	39	101	・教室はせまいから。（3年） ・学年でできるのがいい（歌も歌えた）。（4年） ・兄弟がいる人の移動が大変。（4年） ・学年で一緒に合唱したい、親も喜ぶ。（5年） ・5年生全員で完成させたかった。（5年）
どちらでもよい	5	16	41	62	

☆昨年度のような形に変えたことで、発表で扱った学習内容については、理解が深まりました。子どもたちが発表の仕方を考えたり、発表に必要な物をつくったりと、一昨年度までより、子どもたちの自主的な活動が多くなりました。発表場所を選べるようになり、発表内容に見合った場所で、子どもたちも発表しやすくなったようです。課題として、教室で発表する場合の混雑を軽減する、体育館での発表の仕方や発表する場所を工夫する、きょうだい関係で発表する時間が重ならないようにする、保護者が見る機会が少ない合唱を入れるようにするなどがありましたので、今年度、課題が軽減されるように検討していきたいと思っています。

持久走記録会

【職員の意見】○成果 ▲課題

- 運動場を走ることによって安全面の心配が小さくなった。これまでよりも少ない教員数で見ることができ、緊急時にすぐに対応できる体制になった。
- 保護者の見学場所が左右に分かれていたので、混雑が少なかった。子どもの待機場所と保護者の見学場所の区分けがしっかりできていた。
- 保護者の方がマナー良く見学してくださった。
- 子どもの移動距離が近く、管理しやすかった。
- 放課の駆け足がなくなって子どもたちの負担が大きく減り、メンタル面での体調不良を訴えて保健室に来る子はかなり少なかった。
- 放課にかけ足運動がなかったので、慌たしさや心身面の不安がなくなり、子どもたちは落ち着いて過ごせていた。走りたい子は自主的に走っていた。その分体育の時間に、集中して走ることができた。
- ランニング強化週間以前から、体育の授業で一定時間を走り切ることに取り組んでいたため、長い距離を自分のペースで走ることを子どもたちが嫌がらずに頑張っており、取り組んでいた。
- 3、4年生はペアを組み、お互いの上着を持ってもらいながら、周数を数えてもらい、誰も周数を間違えることなく、ゴールすることができた。

- ▲12月にタイム測定した方が記録のよかった子がたくさんいた。冬休みに体力が落ちること、1月の後半の強風と寒さの中、よい記録を出すのは難しい。
- ▲1月に行うのは、感染症流行の恐れがあるため、リスクが大きい。学習発表会の準備と体育での持久走が重なる時期ができてしまうが、12月に行いたい。
- ▲当日の強風と底冷えする中、高学年の子どもたち、先生たちは2時間も外にいたので、体調面が心配だった。午前中にすべて行うのは、高学年に負担である。
- ▲周回おくれが起きてしまい判別が厳しい。また 記録を狙うというのであれば、周回遅れが多い分、ベストコースを走るのは厳しくなる。
- ▲転倒を防ぐために、スタート位置を2段階にしてもよかった。
- ▲体育の授業にクラスを半分に分けて、1時間で2回測定がクラスの中で見合えば、周回間違いは起きにくく、安全に行える。
- ▲学年全体で行ったので、時間がかかること、けがの心配、1256年の負担が大きくなっている。
- ▲トラック走で、学校全体で行うことは難しさがある。昨年までのように学校外を走るのならよいが、トラック走ならば体育の授業時間内に各クラスで行う方がよいのではないかと。

【児童アンケートの結果】

	人数				主な理由
	3年	4年	5年	計	
今年のようなやり方を続けたい。	67	30	36	133	・休み時間に自由に遊べるから。(3年) ・車の心配がないし、転んだとき運動場の方が安全。(3年) ・何回も親の前を通るから、頑張れる。(4年) ・順位がわかって、嫌なことを言われる。(4年) ・おいていかれる感じがしない。(5年) ・走りやすく、足への負担が少ない。(5年)
前のやり方がよかった。	29	62	24	115	・何周走ったかわからなくなる。景色がかわらない。(3年) ・賞状がもらえるから。(4年) ・ゴールがつまる。(4年) ・順位が出ると目標ができる。昨年と比較できる。(5年) ・何周走ったかわからなくなる。(5年)
どちらでもよい	22	16	24	62	・放課はなしにして、校外走がいい。(5年)

☆運動場を利用することで、子どもの様子を把握しやすく、何かあった時にすぐに対応できるようになり、より安全な形で実施できました。子どもにとっても、走りやすかったようです。休み時間に行っていた「かけ足運動」をやめ持久走を体育の授業で継続して実施していくことで、例年見られた「かけ足運動」期間中の子どもたちの不安定な様子や授業時間への影響が解消されました。課題として、運動場トラックを多くの人数が走ることで、周数を間違える心配がある、混み合って走りにくい状況があった、実施時期が1月だと感染症の恐れや寒さや風などコンディショ的に厳しい、などがありました。

前にもお伝えしたように、持久走は体育の授業として実施しており、体育科では「体づくり運動」の一つと考えられ「一定時間を無理のないペースで継続して走る」と示されています。一昨年度までは大会として行っていたので、保護者の見学が多く、子どもたちにとってもお家の方の応援が励みになっていました。そのことを考え、昨年度は、保護者の方の仕事にできるだけ差し支えないように、同一日に全学年実施をしました。ただ、上記のような課題がでてきましたので、これらの課題を踏まえて、今年度は12月の懇談会前に1週間、学校公開日を設け、この期間中に、学級、2クラス合同等の方法で、体育科の持久走の学習のまとめとしての持久走記録会を実施したいと思います。